

2. 青森県のみちの現状と課題

現 状

【生活圏都市間のアクセス時間】

主要都市間は概ね2時間以上かかる

【高規格幹線道路の整備状況】

県内の計画延長の4割（全国で約6割）の整備率

県庁所在地青森市と24万都市八戸市が高規格幹線道路で連絡されていない

【国道・県道の整備状況】

改良率は全国・東北の水準を下回り、東北6県内でも福島県に次いで低い水準である。

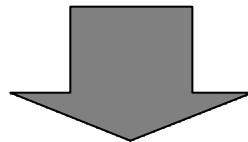
「4車化率」、「道路緑化率」、「歩道設置率」、「幅広歩道設置率」ともに全国水準より低く、また、東北6県内でも整備が遅れている

冬期閉鎖区間は36路線あり、冬期の通行不能率(14.2%)は全国でワースト1である

【防災上の問題】

大雨などの異常気象時に通行が規制される道路区間は109箇所ある

都市部における密集市街地



課 題

【アクセス性の向上を図る】

青森・津軽・南部・下北の各生活圏間の移動時間の短縮

【災害に強い道路】

災害時の緊急活動を支え、代替性のあるネットワークを確保

道路・都市防災対策の推進

冬期交通の確保（車道・歩道）

【渋滞対策】

都市内の渋滞箇所、都市間を結ぶ道路での渋滞対策の検討

【バリアフリー対策】

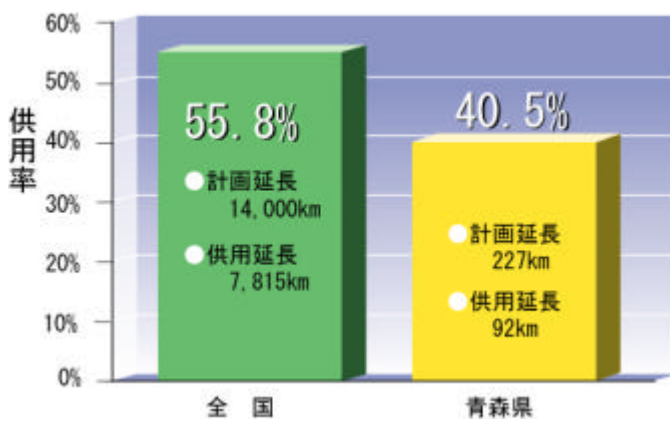
高齢化社会に対応した歩道整備の拡充

地方生活圏中心都市間の連絡時間

青森県は、高規格幹線道路の整備率が低く、そのため県内の主要都市間の連絡時間は、2時間以上となっている。



高規格幹線道路の整備状況 (平成14年度末現在)



国道・県道における道路改良率

